

「浅口市DX研修事業」を受注 幹部職員のデジタル意識向上へ

3/17の研修に35人が参加

三菱電機グループの情報システムサービス企業・(株)ビーシーシー(福山市緑町1-8、関谷洋社長、電084・921・2477)はこのほど、浅口市から「浅口市DX研修事業」を受注。同社のビジネスパートナー企業と協業で3月17日に研修会を開催した。写真。

浅口市は、総務省が推進する「自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画」に基づき、市民の利便性の向上や行政事務の効率化を目的とし、DXを推進していくため、市幹部職員のDXへの意識向上を目的とした研修を実施した。

研修会には市の幹部職員35人が参加。講師によるDXの必要性の説明や事例紹介の後、浅口市としてのD



X推進についてグループ討議が行われた。

参加した職員からは、「今回の研修で、DXを推進するうえで、職員の意思改革が重要と再認識した。幹部職員が中心となり、市役所全体にDX推進の必要性を伝え、今後の市の行政運営に反映し、市民サービスの向上につなげていきたい」といった意見が出ており、事務局も手応えを感じていたようだ。

ビーシーシーは、今後も地方自治体のDX推進の支援を行っていく方針。